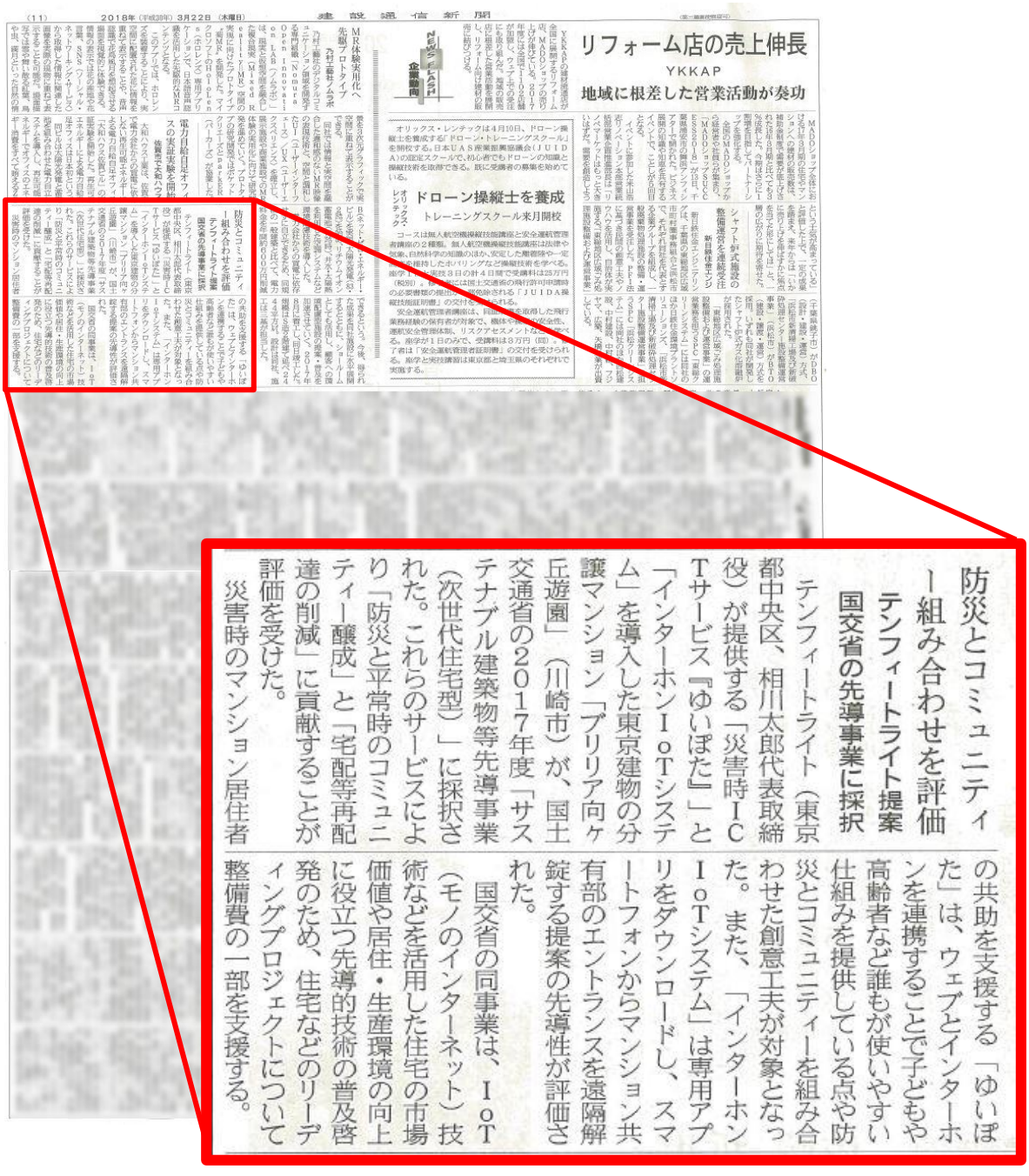
建設通信新聞　2018.3.22



防災とコミュニティー組み合わせを評価

テンフィートライト提案
国交省の先導事業に採択

テンフィートライト（東京都中央区、相川太郎代表取締役）が提供する「災害時ICTサービス『ゆいぽた』」と「インターホンIoTシステム」を導入した東京建物の分譲マンション「ブリリア向ヶ丘遊園」（川崎市）が、国土交通省の2017年度「サステナブル建築物等先導事業（次世代住宅型）」に採択された。これらのサービスにより「防災と平常時のコミュニティー醸成」と「宅配等再配達の削減」に貢献することが評価を受けた。

災害時のマンション居住者の共助を支援する「ゆいぽた」は、ウェブとインターホンを連携することで子どもや高齢者など誰もが使いやすい仕組みを提供している点や防災とコミュニティーを組み合わせた創意工夫が対象となった。また、「インターホンIoTシステム」は専用アプリをダウンロードし、スマートフォンからマンション共有部のエントランスを遠隔解錠する提案の先導性が評価された。

国交省の同事業は、IoT（モノのインターネット）技術などを活用した住宅の市場価値や居住・生産環境の向上に役立つ先導的技術の普及啓発のため、住宅などのリーディングプロジェクトについて整備費の一部を支援する。